

2025年2月18日(火)

老球の細道854号

年間ベスト5と「5人制ルール」

会津バスケットボール協会 室井 富仁

【1891年12月21日アメリカ東部マサチューセッツ州スプリングフィールドの国際YMCAトレーニングスクール(現スプリングフィールド大学)の体育館の針は午前11時30分を指していた。バスケットボールを考案したJ・ネイスミスが受け持つ2年生課程1,2学年合併クラスの体育授業が始まろうとしていた。当時、24名の学生が在籍しており、この日の授業には18名が出席していた。

9対9の2組に分け、トスアップからゲームは始まった。ボールはサッカーボール、ゴールは桃の収穫に用いる「桶(籠)」で、その桶が2つ、コートを取り巻く体育館のバルコニーの足元に釘で打ち付けられていた。それは床から10フィート(今も変わらない3・05m)の高さだった】(『バスケットボール物語』水谷豊著:大修館書店)

バスケットボールが誕生した時は、たまたま出席していた学生が18人いたので、機会的に2チームに分けた結果9対9のゲームになった。歴史を創った18人の中になんと日本からの留学生石川源三郎という青年がいた。彼はこの時のゲームのスケッチ画を残している。

9対9でスタートしたバスケットボールはその後アメリカのあちこちでプレイされ非常に人気を博したという。しばらくは人数による決まったルールはなく、お互いのチームが同じ人数であれば何人でも良かったそうである。50人対50人でなされた記録も残る。

1893年になるとゲーム人数のルールが次のように決まった。「レクリエーション的に行うのであれば人数制限なし。体育館が小さければ5人制。体育館が大きければ9人」。1894年には「フロアの面積で5人制、7人制、9人制でプレイする」となった。色々試行錯誤を繰り返すうちに「5人対5人」でプレイすることが、ルールで決められていくコートの広さにマッチするということで、1897年になると「1チームの人数は5人とする」と改められ現在に至っている。バスケットボールの長い歴史の中で、「5人制」は「リングの高さ3m05cm」と共に変更されないで生き続けるルールである。

先日「ミニバス新人会津地区大会」の試合の合間に「会津地区年間ベスト5」の表彰式が行われた。いずれも今年度会津地区を代表する金の卵達である。この席上で私はバスケットボールがなぜ「5人制」で行われるようになったのか前記の歴史的経緯を話した。バスケットボールの歴史を知ることによってその競技の深さを知り、さらに面白くなってプレイに励み、もっともっと上達してくれることを願ったからである。そして長くバスケットボールを続けて人生の楽しみとのパートナーになってもらえれば幸いである。

風の噂によると、来年度からミニバスのルールに「3ポイントルール」「リングの高さ3m05cm」「6号ボール」に歴史的な改正がなされるという。まさに「ミニバスケット」から「U-12バスケット」となる。バスケットボールは数々の「時間ルール」の改正によりゲームがスピードアップしてきた。スポーツの発展はルールの変更と共にある。